

令和8年5月28日  
危機管理部

## 備蓄物資管理業務について

### 1 主旨

令和7年5月23日付災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会で報告した避難所生活者用備蓄物資等の管理業務の外部委託による令和7年度の成果及び令和8年度の予定等について、その進捗状況等を報告する。

### 2 令和7年度の成果

#### (1) 事業の目的

物資管理や配送等の専門知識を有する物流事業者等に平時の防災倉庫等の備蓄物資管理業務を委託し、その専門的な知見を最大限活用することにより防災倉庫内の最適化及び物資管理業務の効率化・省力化を図るとともに備蓄物資の情報を共有・更新できる体制を構築する。

#### (2) 受託事業者

- ① 事業者名：JPロジスティクス株式会社
- ② 所在地：東京都千代田区大手町2丁目3番1号

#### (3) 主な成果

##### ① 備蓄物資の納品・回収

令和7年度に区が購入した食料、生理用品等の備蓄品の納品・回収を適切に実施した。

##### ② 備蓄倉庫等の整理・見直し

- 3か年の初年度として予定していた、広域用防災倉庫全16か所、避難所運営用防災倉庫16か所、合計32か所の最適化を計画どおり終了した。
- 備蓄物資の保管スペースの確保のため、川場村と建物貸付契約を行い、区内の各広域用防災倉庫から川場村広域用防災倉庫に、以下の備蓄品を移動させ保管を完了した。
  - ・避難所用テント型間仕切り 6,000台
  - ・避難所用折り畳み式簡易ベッド 6,000台

##### ③ 棚卸

倉庫内備蓄の棚卸を実施し、備蓄品目・数量の確認、倉庫内物資一覧表及びレイアウト図の作成を行い、各避難所倉庫へ設置した。

##### ④ システム管理、台帳管理

各倉庫で保管する備蓄物資の品名、数量、箱数、入数、箱サイズ、賞味期限、納入業者等のデータを作成した。今後の備蓄倉庫等の整理・見直しを通じて適切な管理運営に活用していく。

### 3 令和8年度の実施内容（予定）

(1) 令和7年度の成果を踏まえ、特に早期に整理すべき避難所運営用防災倉庫40か所の最適化を完了する。

(2) 令和8年4月30日に三菱UFJ銀行と災害時協力協定を締結するとともに、倉庫の建物使用貸借契約を新たに締結したことに伴い、令和8年6月より「成城学園前広域用防災倉庫」の運用を開始する。同倉庫には区内の各広域用防災倉庫から以下の備蓄品を移送し、空いたスペースを活用して都からの寄託物資の備蓄を推進する。

・避難所用テント型間仕切り 1,760台

・避難所用折り畳み式簡易ベッド 910台

・避難所用ダンボールベッド 850台

※ 本倉庫は、三菱UFJ銀行成城支店施設内の約110㎡を無償（電気料金除く）で借り受けるものである。

※ 地域防災計画では、発災後3日分の食料・生活必需品及びテント・ベッド等の多様な物資の確保に向けて、保管スペースの確保に取り組むこととしている。

### 4 今後のスケジュール（予定）

令和8年 6月～令和9年 2月 避難所運営用防災倉庫（40か所）の整理

令和8年 6月～令和8年 7月 成城学園前広域用防災倉庫への物資搬入

令和8年 6月～令和9年 3月 備蓄物資の更新、倉庫清掃等

令和9年 6月～令和10年 2月 避難所運営用防災倉庫（40か所）の整理